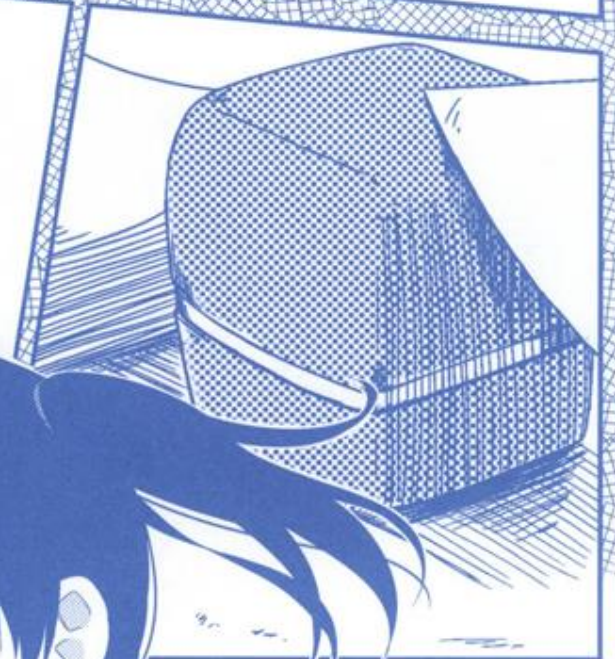
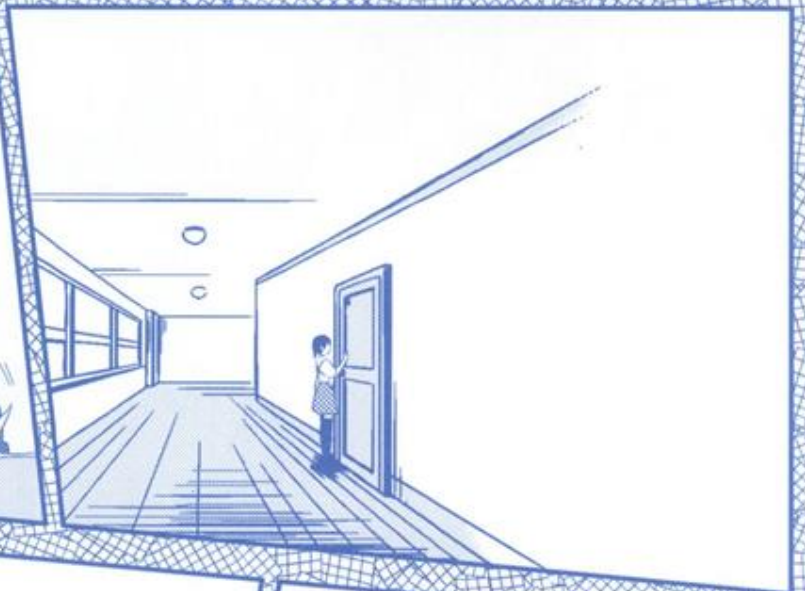


ソ  
ノ  
ゴ  
ノ  
ニ  
イ  
ヅ  
マ  
カ  
ツ  
コ  
カ  
ガ

R  
18









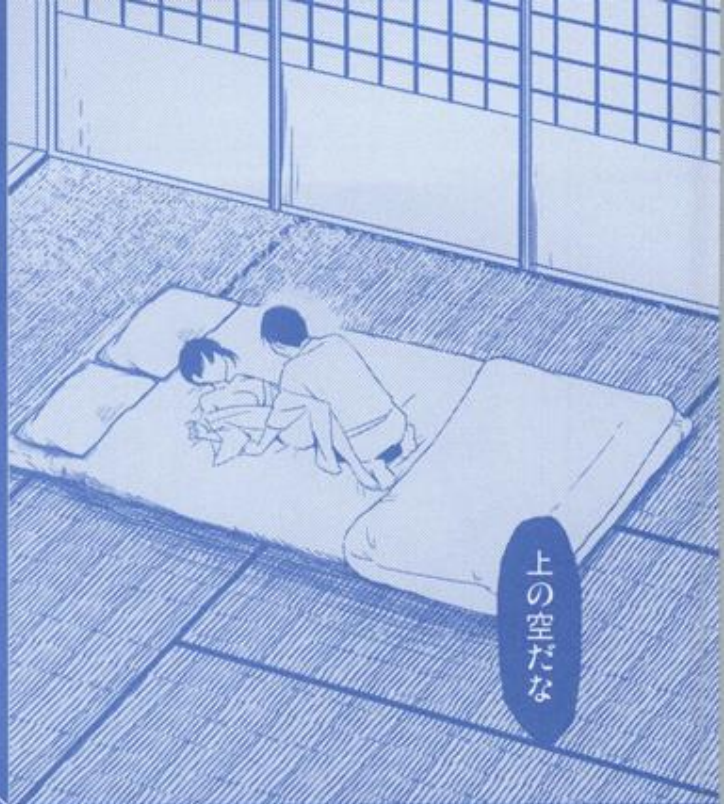


そんなこと

(ま)



ん



上の空だな



体も強張っている

ゼクッ

くんに、くんに、



チャリッ

ヒッ



ん

ん





ここはこんなに  
柔らかいのに



二本入った

一言余計だわ、



！

しゅっしゅっ...  
しゅっしゅっ

.....



加賀はもう我慢  
できないんだな

後ろからだなんて

やっ

ヤッ!!

ぬ  
139

アッ

あ  
...

ヒクヒク  
ン

ん



犬みたいなの

どうだ？  
いつもと違うか？

はあ  
あはあ

う

ニヤッ

ニヤッ  
ニヤッ





膺越しに背骨を  
撫でられてる



んんん  
ふふふ

ふふふ  
ふふふ

んんん  
ふふふ

ふふふ  
ふふふ  
ふふふ  
ふふふ

(は)

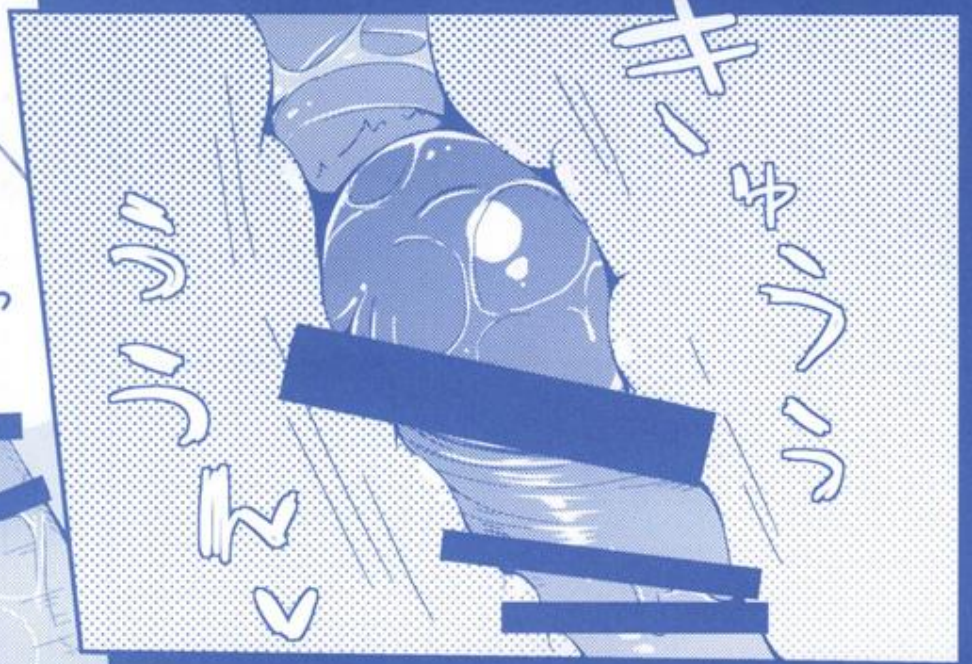
なかに...っ

んんんんん

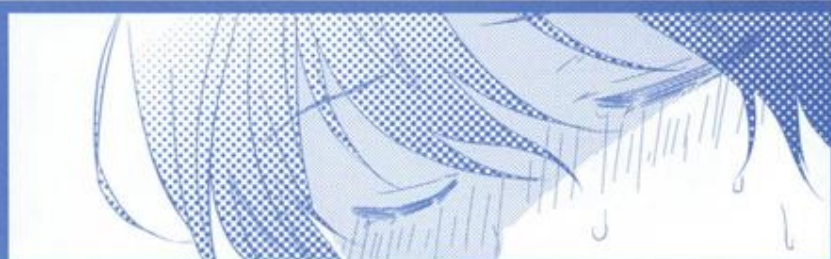
(は)

(は)





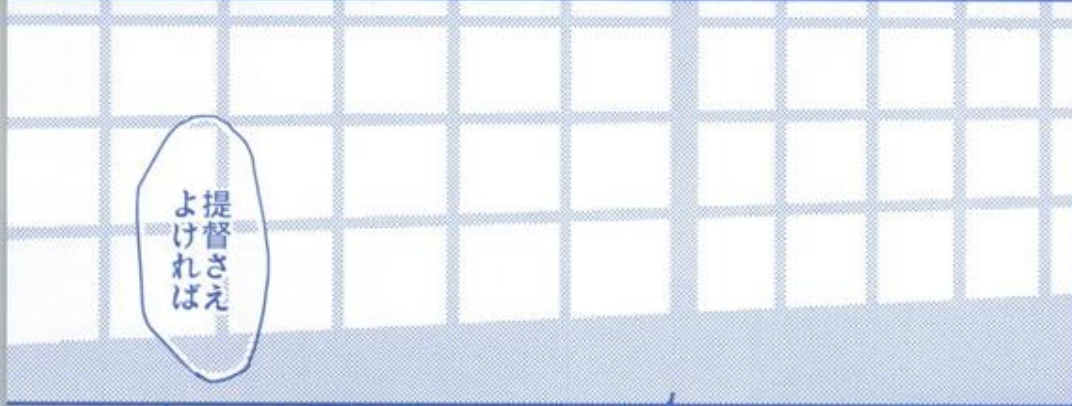








どうした



提督さえよければ



なんた足りないのか？



こうか？



ちがっ

シヤッ  
シヤッ





ふっ

っ

くっくっ

わっわっ  
わっわっ  
わっわっ  
わっわっ

わっ

わっわっ

悪かったよ

ここだろ？

おっおっおっ

っ

いきなり

わっ

そんな

深く……っ





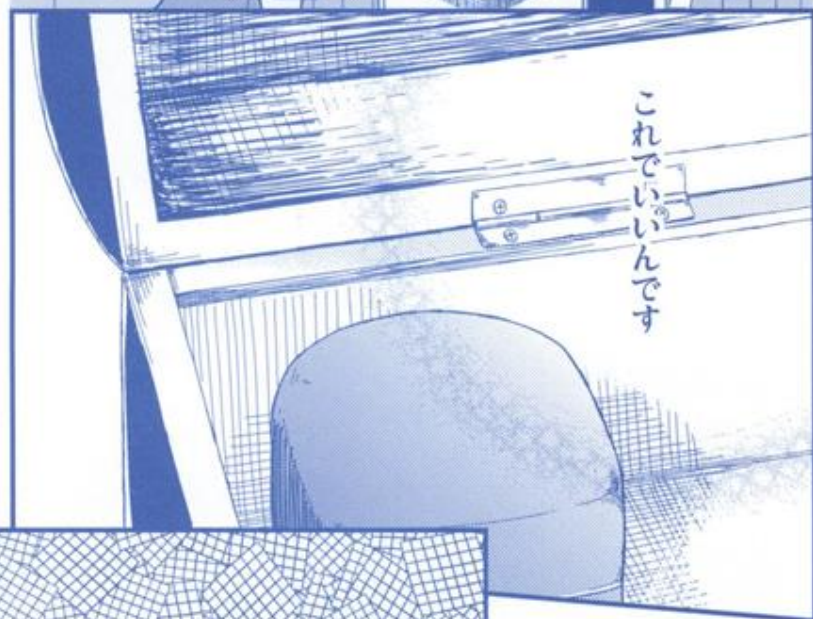




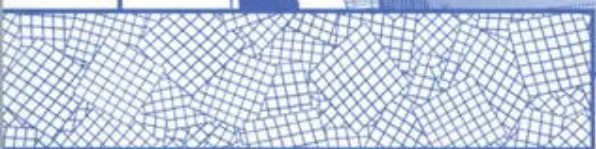




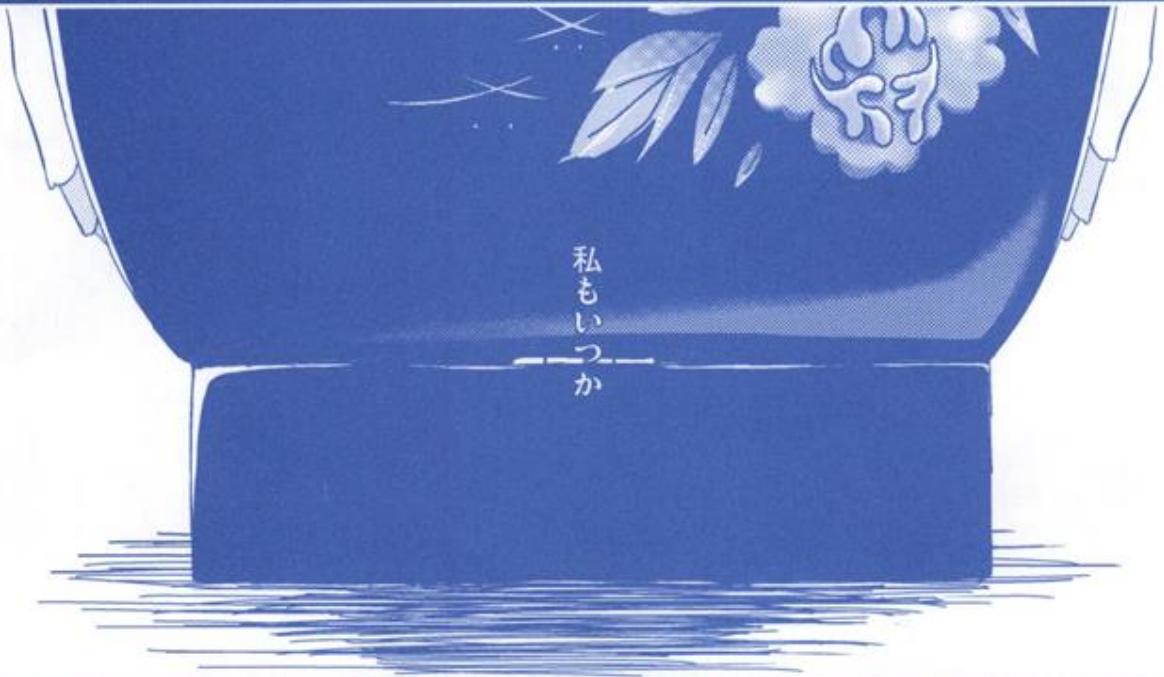
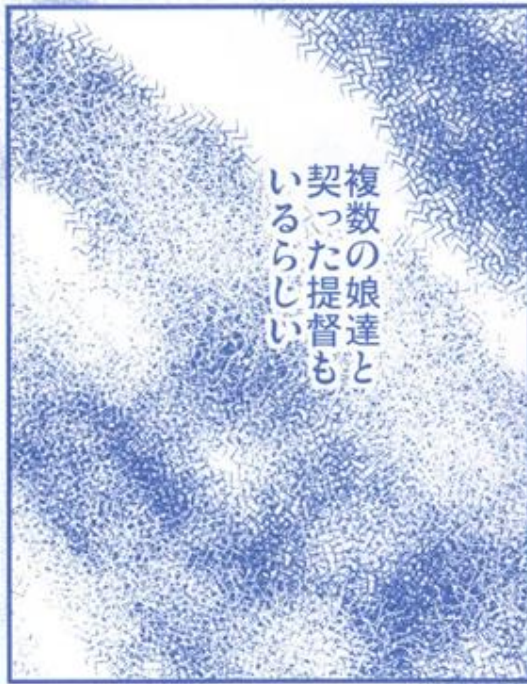




あの日受け取った  
指輪は少し大きすぎた







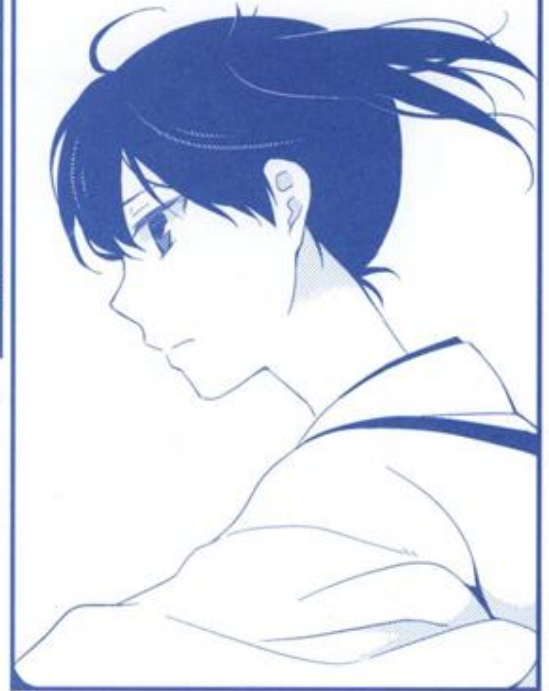




あれ?



加賀さん？



加賀さん！  
そんなに急いで  
どうしたんですか？

ちよっど  
よかったわ

貴方達  
提督が今どちらに  
いるか分かって？

ご主人様なら  
多分、お部屋に

っ  
連っ

あ

あの指輪

新しく妻を  
迎えるのかと  
思っていたけれど



貴方達  
何で着いてくるの



私たちもごっちゃん  
用があるんです！

加賀さん！  
今はちよっと  
よくないです！

加賀さんっ

どうしてですか  
提督

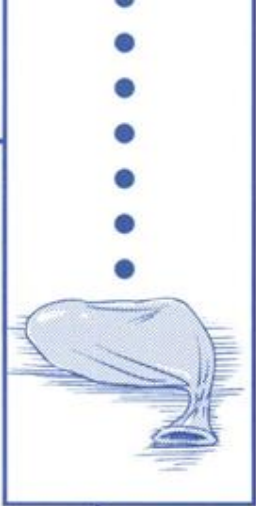
あれは  
私の……









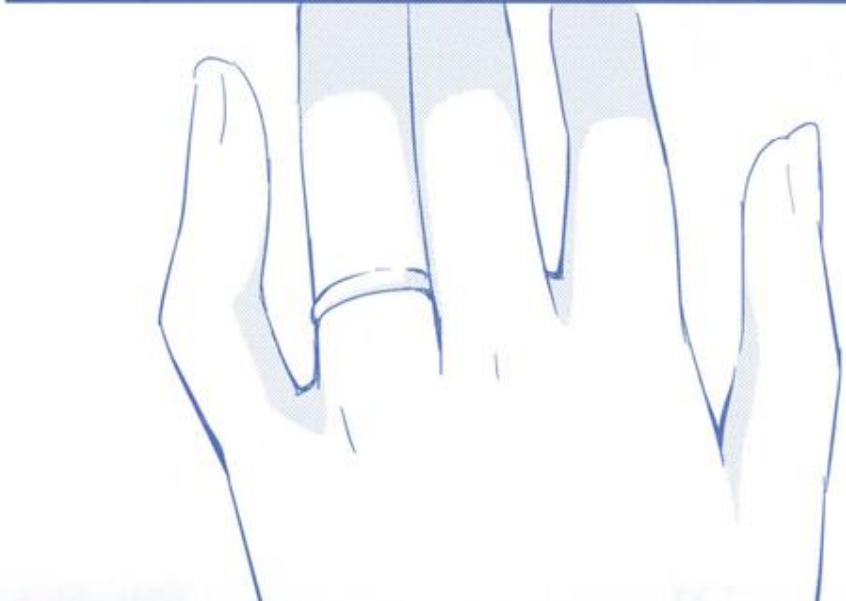
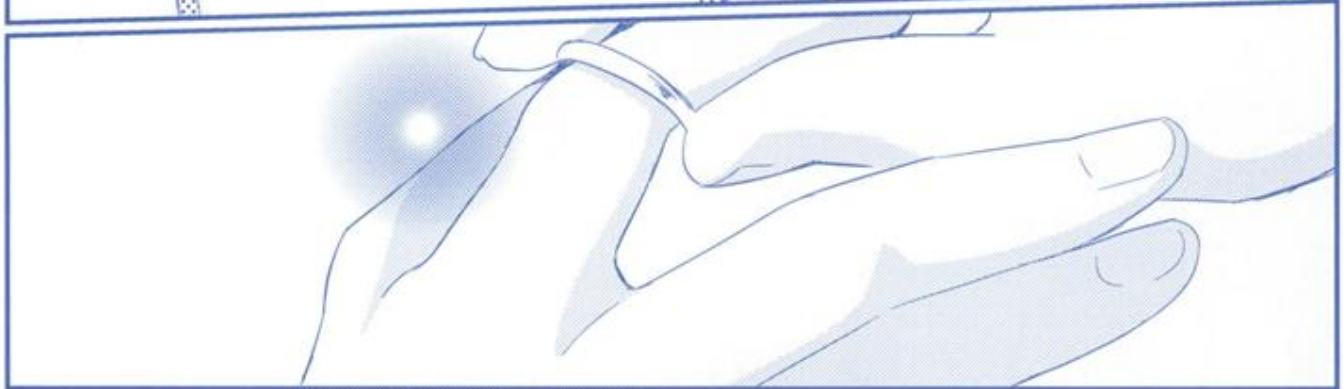
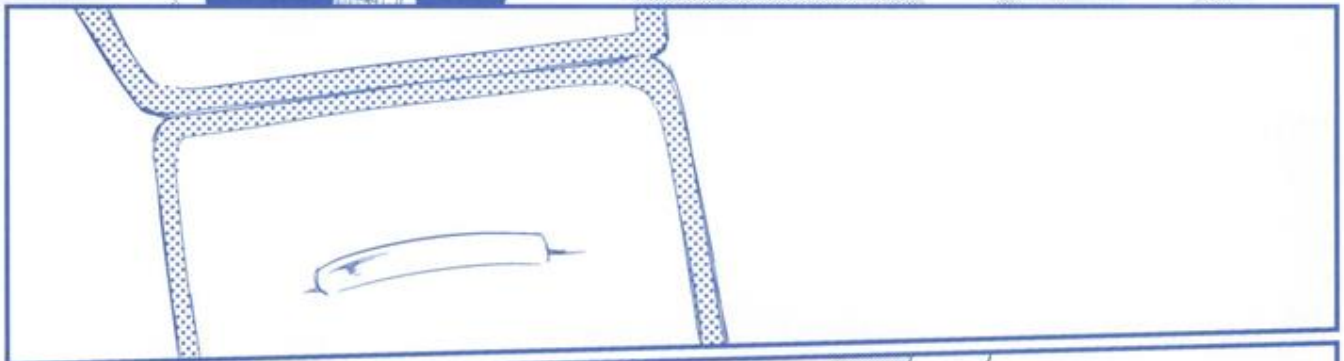




その…

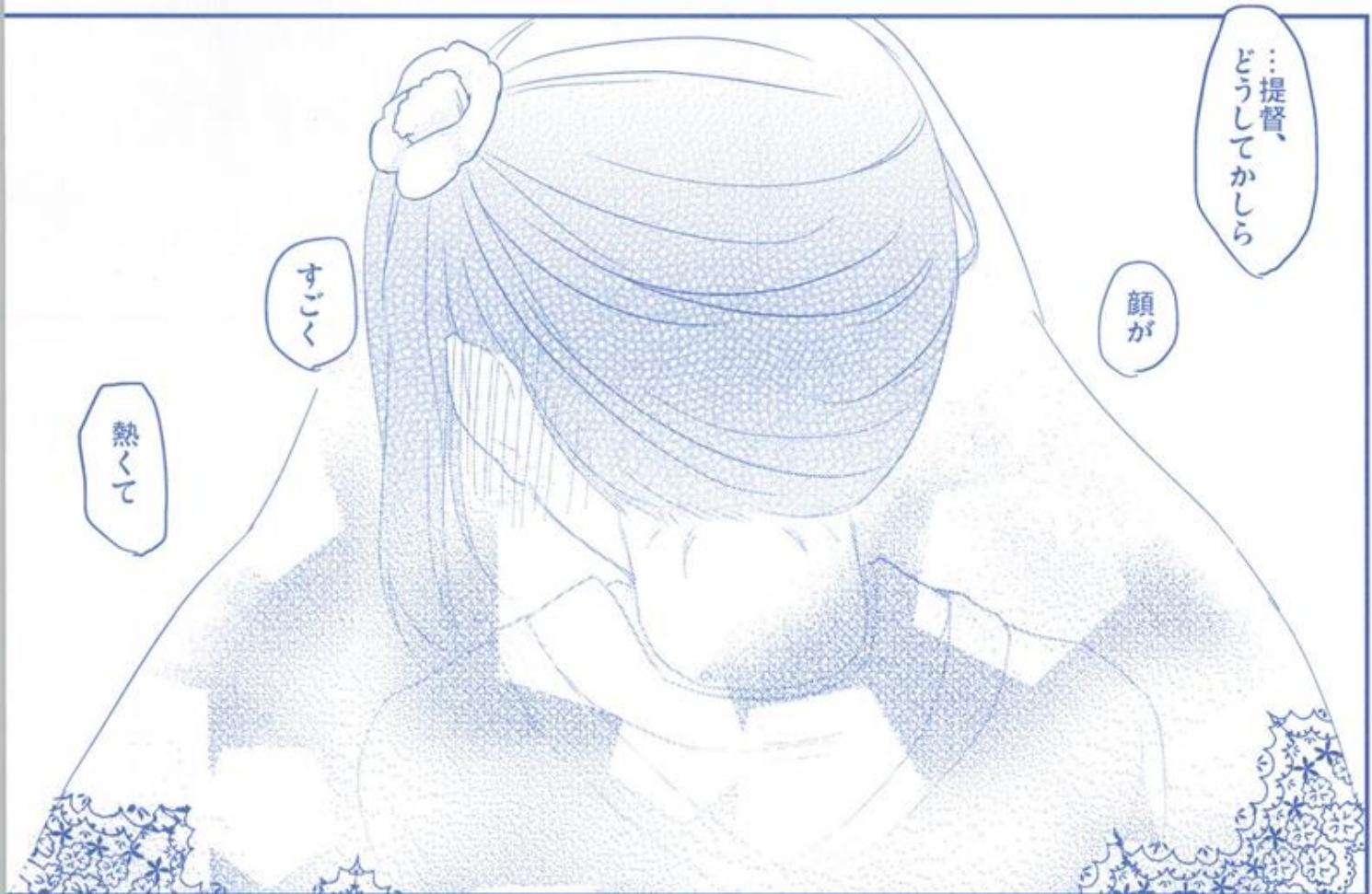
改めて  
取って  
くれるか？

無断で持ち出して  
悪かった



今度こそ  
ちゃんと嵌ったな









不束ではありませんが

加賀

実はだな



互いにするものなんだろう？

指輪がもう一つ…？



末永く頼む



ええ





二〇一四年八月十七日  
ヒツジ一 番搾り



その後の新妻(加賀)